

## ***Oxford Reading Tree*** Level 2 First Sentences

- ① The Big Egg 「大きなタマゴ」
- ② Poor Floppy 「かわいそうなフロッピー」
- ③ Put It Back 「(海に)返してあげよう」
- ④ In a Bit 「ちょっと待って」
- ⑤ A Present for Mum 「ママへのプレゼント」

## 【解説・本文訳について】

解説は、外山英語教室主宰、オックスフォード大学出版局より発売されている *English Time* 共著者としてもおなじみの外山節子先生の書き下ろしです。本文訳は長年英語教育に携わってこられた二木昭子先生にお願いしました。絵本として楽しむだけでなく、日本の子どもたちの「英語学習」にも効果的なお話の読み方や活用方法が、丁寧かつ具体的に紹介されています。

## 【Level 2 First Sentences について】

このパックは以前は旧版では「First Phonics」と呼ばれ、次のような特徴があります。

- ところどころにライム(韻文)をまじえたリズムのよい文章
- 子音や母音のしぐみに注意が向くように計算された特定の単語の繰り返し

つまり、キッパーたちの世界での冒険を味わうという「読書」そのものの喜びを子ども達から奪うことなく、「読む」ことを自然とフォニックスの世界へ結びつけるよう、意図的に構成されているのです。

レベル2では、単語の最初と最後の子音(initial / final consonants)に注意を向けます。Mum, Dad, look, was, had, said, play など、イギリスの4-5歳児が日常生活でよく耳にしたり話したりすることば(high frequency words)もたくさん文中にでてきます。

# The Big Egg 「大きなタマゴ」

The Big Egg	大きなタマゴ
PG 1 The children fed the hens.	子どもたちはメンドリにえさをあげました。
PG 2-3 They looked for eggs.	子どもたちは卵を探しました。
They put the eggs in a box.	卵を箱に入れました。
PG 4-5 Dad had an idea.	パパはあることを思いつきました。
PG 6-7 Kipper went on looking.	キッパーは卵を探しつづけました。
PG 8-9 "Look at this egg," said Kipper.	「この卵を見て。」と、キッパーが言いました。
"This is too big."	「これは大きすぎる」。
PG Kipper looked at the hen.	キッパーはメンドリを見ました。
10-11 "This is too big for you," he said.	「こんな大きい君のじゃないよね」と、キッパーが言いました。
PG "Come and see this," said Dad.	「これを見にきてごらん」とパパが言いました。
12-13	
PG "This is too big for you," said Mum.	「これはあなたには大きすぎね」と、ママが言いました。
14-15	
PG 16 "This is too big for me," said Dad.	「これはパパにも大きすぎだよ」とパパが言いました

- 1) 表紙を見せ、Kipper たちがどこで何をしているのか考えます。タイトルを読み、the big egg は何のことか想像します。
- 2) 1 ページの絵を見て、Kipper たちが、自宅にいるのではなく、農場(farm)にきていることが分かります。描かれているものをどれだけ英語で言えるか試してみましょう。ここで、子どもが言う単語を全部ボードに書き出すと良いでしょう。次に、英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。英文を読んで聞かせます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、big, box, Dad, egg, fed, had, hen(s)などです。
- 4) 2 ページ以降も 2) の方法で読み進めます。イラストに描き込まれたユーモア (Floppy は農場にいるすべての鳥に負けていますね) を楽しむことを忘れないで。

また、子どもが読める単語だけでなく、context words をたくさん聞かせましょう。

- 5) 役柄を割り当て、一緒に読み進む中で自分のセリフを言う練習をすると、読んだ英語をしっかりと自分のものにすることができます。また、イラストに登場する様々な鳥を絵図鑑で調べましょう。ダチョウの卵とニワトリの卵の大きさ、重さを調べましょう。

## Poor Floppy 「かわいそうなフロッピー」

Poor Floppy		かわいそうなフロッピー
PG 1	Floppy was not well.	フロッピーは具合が良くありませんでした。
PG 2-3	He lay on his bed. “He looks bad,” said Kipper.	フロッピーは自分のベッドに横たわっていました。 「具合が悪いみたい」とキッパーが言いました。
PG 4-5	Biff wanted Floppy to get well. Kipper was sad.	ビフはフロッピーが治りますようにと願いました。 キッパーは悲しかったです。
PG 6-7	Mum took Floppy to the vet. Chip went, too.	ママがフロッピーを動物病院へ連れて行きました。 チップもついて行きました。
PG 8-9	Chip looked at the pets. “I can see six cats,” he said.	チップはペットを見ました。 「猫が6匹いる」とチップは言いました。
PG 10-11	Floppy just looked at the cats. He was not well.	フロッピーは猫をただ見ていました。 彼は具合がよくありません。
PG 12-13	The vet looked at Floppy. “Give him some pills,” she said.	獣医さんがフロッピーを診察しました。 「薬をのませてください」と言いました。
PG 14-15	Mum took Floppy home. Floppy had some pills.	ママはフロッピーを家に連れ帰りました。 フロッピーは薬をのみました。
PG 16	Floppy was soon better.	じきにフロッピーは良くなりました。

- 1) 表紙を見せ、Floppy はいったいどうしたのか考えます。タイトルを感情を込めて読み、意味が分かるか聞きます。「かわいそうなフロッピー」と分かってからストーリーを読み始めます。
- 2) 1 ページの絵を見て、Floppy はどうしたのか考えます。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。英文を読んで聞かせます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、bad, bed, can, get, had, just, not, pets, sad, six, vet などです。

4) 2 ページ以降も 2) の方法で読み進みます。bed と bad, bad と sad、pet と vet、look と took のように、1 文字を入れ替えることで、別の単語になるものを探しましょう。

【-ad ファミリー】

bad	cad	dad	fad	had
lad	mad	pad	sad	tad

このように、意味のある単語、意味の無い単語がまざった-ad で終わる単語を書き出し、すらすら読む練習をすると良いでしょう。

5) 絵本を閉じて、クイズをしましょう。動物病院の待合室にはどんな動物がいたでしょう。診察室には視力検査表がありましたが、いったい誰の視力検査でしょう。14-15 ページには Floppy へのお見舞いがたくさんあります。誰から何が届いているでしょう。元気になった Floppy は誰のスリッパをくわえていますか？

## Put It Back 「(海に)返してあげよう」

Put It Back	(海に)返してあげよう
PG 1 "Look at this," said Biff.	「これ見て」とビフが言いました。
PG 2-3 She had a crab in her hand. "Put it back," said Chip.	ビフは手の中に一匹のカニを持っていました。 「海に返してあげて」とチップが言いました。
PG 4-5 Biff put the crab back. "Let's look on the sand," said Dad.	ビフはそのカニを海に返しました。 「砂の上を見てみよう」とパパが言いました。
PG 6-7 "Come and see this," said Chip. He had a net.	チップが「これを見に来て」と言いました。 彼は網を持っていました。
PG 8-9 "Come and see this," said Mum. She had a bit of wood.	ママが「これを見に来て」と言いました。 ママは木を持っていました。
PG "Look at this shell," said Kipper, 10-11 "This is the best of all."	キッパーが「この貝殻を見て」と言いました。 「これって今までで、最高！」
PG The shell had legs. 12-13 "Oh no!" said Kipper. "What is it?"	その貝殻には足がありました。 「おやまあ、これは何だろう？」とキッパーが 言いました。
PG "It's a hermit crab," said Dad. 14-15 "It's a crab that lives in a shell."	パパが「それはヤドカリだよ」と言いました。 「貝殻の中で暮らしているカニなんだよ」。
PG 16 "Put it back," said Kipper.	キッパーは「これも海に返して」と言いました。

- 1) 表紙を見せ、Biff と Chip がどこで何をしているか話し合います。タイトルを読み、「元に戻して」という意味であることを教えます。この絵本では、何をどこに戻すのか想像します。“Put it back.”を動作をつけて子どもと一緒に言ってみましょう。
- 2) 1 ページを見せ、家族 5 人がどこで何をしているか話し合います。英文を指さし、読める単語があるか聞き、1 つでも読めたら誉めます。said はセリフのあとに必ず現れるので、sight word として教えてしまいましょう。英文を読んで聞かせます。

- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、back, best, bit, crab, Dad, had, hand, legs, Mum, net, sand などです。
- 4) 2 ページ以降も 2) の方法で読み進めます。3 ページで“Put it back,”を読むとき 1) で練習した動作をつけると、子どもも一緒に言うのが自然になります。14 ページの新出単語 hermit crab はヤドカリです。16 ページでも、動作をつけて“Put it back,”を一緒に言います。
- 5) 子どもたちはヤドカリを知っているでしょうか？ 図鑑やインターネットで調べてみましょう。子どもに好きな人物のセリフを担当させて一緒に読みましょう。Biff たちが海岸でつけた色々なものを絵カードにし、絵カードを小物につかっ role play をしても良いでしょう。[æ]の含まれる単語を全部みつけ(書き出してもよい) a の文字があるので、a は[æ]という音だね、とフォニックスのルールを復習しても良いでしょう。i [i]についても同様にすることができます。

## In a Bit 「ちょっと待って」

In a Bit		ちょっと待って
PG 1	“Come and help,” said Mum.	「来て手伝ってちょうだい」と、ママが言いました。
PG 2-3	Biff was looking at the TV. “In a bit,” she said.	ビフはテレビを見ていました。 「ちょっと待って」と、ビフは言いました。
PG 4-5	Dad had a job for Chip. “Come and help,” he said.	パパはチップに用事がありました。 「来て手伝ってくれないか」と言いました。
PG 6-7	Chip was looking at the TV. “In a bit,” he said.	チップはテレビを見ていました。 「ちょっと待って」と、チップは言いました。
PG 8-9	Kipper’s room was in a mess. “Come and help,” said Mum.	キッパーの部屋は散らかっていました。 ママが「来て手伝ってちょうだい」と、言いました。
PG 10-11	Kipper was looking at the TV. “In a bit,” he said.	キッパーはテレビを見ていました。 「ちょっと待って」と、キッパーは言いました。
PG 12-13	“What can we do?” said Dad. Mum had an idea.	パパは「どうしたらいいだろう?」と言いました。 ママはあることを思いつきました。
PG 14-15	Biff, Chip and Kipper wanted dinner.	ビフとチップとキッパーは夕食が食べたくなりました。
PG 16	“In a bit,” said Mum and Dad.	「ちょっと待って」と、パパとママは言いました。

- 1) 表紙を見せ、子どもたち3人が何をしているか話し合います。そう、テレビに夢中です。タイトルを読み「ちょっと待ってね」という意味だと教えます。この絵本で、どんなことが起こるか想像します。
- 2) 1 ページを見せます。said Mum. は読めるでしょうか？英文を指さしながら読んで聞かせます。次のページで Biff がなんと答えるか想像します。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、Biff, bit, can, Chip, Dad, had, help, mess, Mum です。

- 4) 2 ページ以降も 2)と同様に読み進みますが、“Come and help.” xxxxx was looking at the TV. “In a bit.”が何度も繰り返されますので、子どもはすぐに一緒に声を出して読むようになります。そのとき、子どもが読んでいる部分を指で指し示すようにしましょう。
- 5) [i]の音を含む単語がたくさん登場します。全部みつけ(書き出してもよい)i が[i]の音を表すことを確認・復習しましょう。同様に e [e]も復習できます。8-9 ページの Kipper の散らかった部屋にあるものを英語でどれだけ言えるかチャレンジしてみてもよいでしょう。廊下にメガネが落ちていますね。13 ページの Mum のマグカップ(mug)に書いてある英語は読めますか？

# A Present for Mum 「ママへのプレゼント」

A Present for Mum		ママへのプレゼント
PG 1	Dad had a little box.	パパは小さな箱を持っていました。
PG 2-3	It was a present for Mum	それはママへのプレゼントでした。
PG 4-5	Dad had an idea. He wanted to make Mum laugh.	パパはあることを思いつきました。 ママを笑わせたいと思ったのです。
PG 6-7	Mum and Dad had a party.	ママとパパはパーティーを開きました。
PG 8-9	Mum gave Dad a present. Dad gave Mum a big box.	ママはパパにプレゼントをあげました。 パパはママに大きな箱をあげました。
PG 10-11	Mum had a smaller box. "What is it?" she asked.  The present got smaller...	ママは、(中にあった)少し小さい箱を持ちあげました。 「何かしら？」と彼女は言いました。 プレゼントはだんだん小さくなっていきました。
PG 12-13	...and smaller ...and smaller. "This is for you," said Dad.	小さく、そしてますます小さくなりました。 「これは君へのプレゼントだよ」と、パパが言いました。
PG 14-15	"And this is for you," said Mum.	「そしてこれがあなたへのプレゼントよ」と、ママも言いました。
PG 16	"Oh Dad!" said Mum. "Oh Mum!" said Dad.	「まあ、パパ」とママが言いました。 「おお、ママ」とパパが言いました。

- 1) 表紙を見せ、タイトルを読みます。「ママにプレゼントを買ったんだね」とすぐわかりますから、なぜプレゼントを買ったのか、考えます。
- 2) 1 ページを見せます。みんなが何をしているか話し合います。little 以外は、既に何度も見て読んだ単語ばかりです。読めるかな、と聞きます。少しでも読めたら誉めます。英文を読んで聞かせます。
- 3) フォニックス基本ルールで読める単語は、big, box, Dad, had などです。Kipper は見慣れて読めるでしょう。
- 4) 2 ページ以降も 2) と同様に読み進みます。6-7 ページで、結婚記念日、しかも 10 年目の特別な日であることを教えます。Mum から Dad へのプレゼントは 10 ページ

を見ると庭仕事のショベル(spade)であることが分かります。12-13 ページでは smaller の繰り返しがあります。本文を読むだけでなく、イラストの箱を1つずつ指さしてその度に and smaller と繰り返しして聞かせ、だんだん小さくなるのを実感させます。

5) 6/7 ページのパーティの場面を見せ、登場人物を紹介しましょう。窓の外には、お隣のおじさんと犬が見えます。箱を開けると中に小さい箱がいくつも重なって入っているのを「入れ子」と言います。家の中にあるものを使って、「入れ子」を作ってみましょう。また、包装紙や新聞紙を使って、Dad が作ったようなプレゼントを実際に作ってみてもよいでしょう。包装を解きながら、It's getting smaller, and smaller, and smaller.....と言えますよ。